

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28年3月24日

計画の名称	1 千葉市緑地保全及び公園等整備事業			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	千葉市	
計画の目標	本市では、「千葉市緑と水辺の基本計画」(計画期間 平成14年度~平成23年度)及び「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間 平成24年度~平成33年度)に基づき、豊かな緑と水辺を次世代へつなぐべく、その保全、ネットワークの構築、さらなる魅力向上に努めております。都市公園事業では、緑と水辺の拠点となる総合公園の整備を行います。緑地保全等事業では、特別緑地保全地区内の失われつつある優れた自然環境及び歴史文化的意義を有する緑地の保全を図ります。			

計画の成果目標 (定量的指標)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人あたりの緑地環境整備面積 (H22 9.05㎡/人 → H26 9.18㎡/人)</li> <li>歩いていける身近なみどりのネットワーク率 (H22 77.07% → H26 79.46%)</li> </ul>										
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考
					当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)			
一人あたりの緑地環境整備面積 (㎡/人) (用地取得後、将来都市公園となる面積も含む) = (①都市公園等面積+②特別緑地保全等内買入公開地面積+③市民緑地等内施設整備済公開地-②と③の重複面積) / 都市計画区域 域内人口					9.05㎡/人	—	9.18㎡/人			
歩いていける身近なみどりのネットワーク率 (%) = { 供用箇所数 × (平均供用面積 / 公園緑地標準面積) / (住区数 × 1住区の公園緑地標準箇所数) } × 100					77.07%	—	79.46%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,031百万円	A	957百万円	B	0	C	74百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
交付対象事業の主な実施部門 (公園建設課) が、本事後評価書を作成し、事業実施前後の写真、位置図を添付して、市民に公表します。公表期間は2週間とし、市民意見があった場合には市から回答をします。	平成28年3月 公表の方法 HPでの公表、事業所管課窓口での掲示 (千葉市本庁舎)

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 都市公園等事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			都市公園事業 (都川総合親水公園)	用地取得 (1.2ha)	千葉市						263	
1-A-2	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			都市公園事業 (花島公園)	施設整備 (1.7ha)	千葉市						18	
1-A-3	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			千葉市吸収源対策公園緑地事業	<small>施設整備(街区公園1箇所、都市緑地2箇所)、用地取得(都市緑地1箇所)</small>	千葉市		.....				125	
1-A-4	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			検見川地区緑化重点地区整備事業	施設整備 (街区公園1箇所)	千葉市						17	
1-A-5	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			稲毛区西部地区緑化重点地区整備事業	施設整備 (都市緑地1箇所)	千葉市						46	
1-A-6	公園	一般	千葉市	直接	千葉市			千葉市緑地保全等事業	土地の買入れ (5地区2.7ha)	千葉市						488	
合計													957				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26				
																0	
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26				
1-C-1	公園	一般	千葉市	直接	千葉市	街区公園の整備	施設整備 (街区公園1箇所)	千葉市							74		
合計													74				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-C-1	既存林の保全と新たな植栽を伴う公園を整備することにより、温室効果ガスの吸収源対策に寄与する。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		計画期間中に設定した定量的指標の達成度に対しては、交付対象外事業（開発行為にともなう小規模な都市公園の設置等）による寄与も一部はあるものの、 交付対象事業（都市公園・都市緑地の整備）による寄与が大部分を占めている。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（一人当たりの緑地環境整備面積）	最終目標値	9.18㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	市の計画事業として、事業を着実に実施してきたため、目標値と実績値は概ね一致している。
		最終実績値	9.41㎡/人		
	指標②（歩いていける身近なみどりのネットワーク率）	最終目標値	79.46%	目標値と実績値に差が出た要因	市の計画事業として、事業を着実に実施してきたため、目標値と実績値は概ね一致している。
		最終実績値	90.79%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		—			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>次期社会資本整備計画（計画期間H27～H31）においても、引き続き「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」（計画期間 平成24年度～平成33年度）に基づき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や、公園・水辺空間の整備を進めてまいります。 具体的には、従前からの特別緑地保全地区の土地の買入れや、小規模な公園緑地の整備だけでなく、新たに大規模な公園の再整備にも取り組んでまいります。</p>					



計画の名称	1 千葉市 緑地保全及び公園等整備事業	交付対象	千葉市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

